

市民を対象とした市政懇談会が、7月26日から行われました。8会場で8日間、延べ248人の市民らが参加。地域の問題や市政への提言などを市長に直接訴えました。

懇談会の内容について、市民の関心が高いと思われる質問を、抜粋してお知らせします。



### 空き家対策（総務部）

問 壊れそうな空き家があり、台風などで周囲に被害が及ぶ状況だ。どうにかならないか。

答 放置されて崩壊などが問題視される空き家（危険家屋）の問題は、年々増加していて、今年に入り、大雨やシロアリなどで困るという相談も受け付けています。「市でなんとかしてもら

えないか」という声が多いのですが、これらは個人の財産であることから、現在のところ、市で撤去などの対応はできかねます。市としては所有者への対応をお願いすることになります。

### 島鉄跡地（企画振興部）

問 島鉄跡地には草が生い茂っていて、害虫や蛇などが住環境に影響を与えているほか、景観も損ねている。どうにかできないか。なお、サイクリングロードや桜並木などに利用してはどうか。今後の利用計画はどのようなものか。

答 「跡地の草をどうにかしてほしい」という苦情はこれまでも多く寄せられています。しかし、これらの土地は、島鉄の所有物であるため、市で伐採や除草を行うことはできません。いた

いた苦情は、随時島鉄に伝えるなど、適宜要望を行っています。また、利活用については、高規格道路、サイクリングロードや桜並木など、さまざまなアイデアはあるものの、それぞれにクリアすべき課題も多く、引き続き検討をしていきます。なお、現在、島鉄には独自案があり、実現に向け調査、検討を行っていると考えています。

### 赤字路線バス（企画振興部）

問 早崎循環道のバスは中型や大型バスだが、利用者が少ない。ジャンボタクシーの方が省エネだと思いませんか。

答 島鉄によると、動いていないバスの有効利用など、ロスのない経済的な方法を検討した結果だそうです。市からは補助金を出していることもあり、無駄の少ない運行をお願いしていきます。

### ごみステーション（市民生活部）

問 ごみステーションの設置はどのような状況か。また、国道の歩道にも置いてあるが、設置場

所に問題はないか。何かあったときの責任はどうなるのか。

答 ごみステーションにつきましては、平成20年度から加津佐町から有家町でステーション化に取り組んでいます。布津、深江は、合併前からステーション方式を取り入れていました。現在、設置率は89%です。設置希望があり、予算の都合で設置できなかった場所も含め、希望があったものを順次予算の範囲で設置していき、正式に戸別収集をなくしていきます。

### 福祉タクシー利用券（福祉保健部）

問 タクシー利用券は、月3枚が2枚になってもよいので、初

また、ごみステーションは市で予算化し、市の備品として設置をしますが、自治会の管理となります。台風で飛び恐れがあるなどの場合は、自治会で配慮願います。ごみステーションは、地元自治会と協議した上で設置していますが、通行に支障をきたすような場合には連絡をいただければ、移設します。なお、ごみステーションに起因して発生した事故については、市の責任で処理することになります。

### 福祉タクシー利用券（福祉保健部）

問 タクシー利用券は、月3枚が2枚になってもよいので、初

### 学校の統廃合（教育委員会）

問 口之津、北有馬の小学校はすでに統合が終わっているが、統合した効果などの把握は行っているのか。

答 口之津、北有馬の小学校は、すでに統合がなされていますが、効果を検証した資料は残っていません。また、当時の子どもたちに意見を求めることも難しい状況にあるため、効果などの把握はできていない状況です。しかし、「統合しなければよかった」という意見はほとんど聞いておりません。



そのほかの未統合地区については、保護者からのアンケートの分析を現在しているところであります。これらを踏まえ、さらに保護者の意見を聞き、地域住民の方を含めた説明会を、秋に開催する予定です。

### 学校給食（教育委員会）

問 学校給食会の統合は、合併時の取り決めであったと思うが、どういう状況か。また、統合によってどうなるのか。また、地元の野菜を使うなど地産地消を進めてもらいたい。

答 学校給食会については、本年度中の統合を目指して話し合いを進めています。統合に伴い、これまでそれぞれ違っていた給与や勤務の体系を統一することが目的です。なお、現在も地元

の米、食材を利用するようお願いしていますが、安定供給の観点からは難しい面もあります。方法などを工夫し、地産地消に努めていきます。

### 世界遺産（教育委員会）

問 市では世界遺産登録に向けて呼び掛けているが、実現の可能性はあるのか。

答 現在、平成26年度の登録実現に向けて取り組んでいます。原城跡の整備基本計画が出来上がり、国庫予算を利用しながら、10年間で整備を進めていく予定です。日野江城跡についても、本年度中に整備基本構想を作成していきます。

### 長崎国体（教育委員会）

問 長崎国体がせっかくあるのに、南島原市で行われる競技がない。スポーツが盛んな地域なのになぜか。また、都道府県駅伝では雲仙、島原からは、県人会が特産物を配っている。南島原市も積極的にPRを行ってはどうか。

答 適当な規模の会場がないのがその理由です。市内の施設は、数は多いものの、国体レベルの競技場（試合会場）としては、規模が小さすぎます。しかし、

### 水道関係（水道部）

問 水道事業計画の進捗はよくはどうか。また、津波見川の水も水源として使うのか。

答 当初の計画では、北有馬町からの取水を検討して来ましたが、さまざまな事情から断念しました。現在、南有馬町の北岡水源で取水した水を加津佐方面に送水する計画をしています。平成26年度までには、完了する予定です。並行して、かんがい用として使われていた権田のボーリング水の利用も検討していきます。また、津波見川の水源は常時使うのではなく、災害時の予備水源として位置づけてい

ます。なお、現在、津波見川の水を水源として水道水を配水していますが、定められた水質検査を行っており、飲用には問題ありません。

問 同じ市なのだから、水道料金が高くなる地域は仕方がないが、料金が高い地域は一度に下げることができないか？

答 水道料金については、今年4月から5年をかけて段階的に調整していきます。これにつきましては、昨年9月議会にて修正案で可決された経緯があります。水道料金は水道事業の経営を考慮しなければならないことから、上がる方、下がる方の両方から互いに歩み寄ってもらうようにしております。

乗りの500円にすることができないか。また、1度の乗車で2枚以上の利用はできないか。

答 移動手段が限られている高齢者、障害者の外出機会を増やすことが目的であることから、200円は負担していただき、その分回数を増やしています（年36回）のでご理解をお願いします。また、1度の乗車に1枚しか使うことはできませんので、利用者、事業者両方でのルールの順守をお願いします。

### 障害者への情報伝達（福祉保健部）

問 私は全く耳が聞こえず、防災無線も聞こえないので、情報が入ってこない。耳が聞こえない人に対する対策はどのようなものか。

答 昨年、高齢者や障害者等の災害時要援護者の登録を行い、万一の災害時にサポート役を誰にするか届け出てもらっており、現在、それらの情報を整理しデータベースとして登録しているところです。今後は、FAXや携帯電話のメールなどで情報提供ができないか、検討していきます。

そのほかにも、さまざまな意見や提案がありました。

- 市政懇談会のあり方
- 棚田の環境整備
- 防災無線
- 支所への予算配分
- イノシシ問題
- 耕作放棄地対策
- ごみの不法投棄
- 就業場所の確保
- 企業誘致
- 海の汚染対策など

詳細は、市のホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。